

発表内容のまとめ、振り返り

1. 愛知県図書館様の事例

1)電子図書館検討の経緯

2019年度から検討開始、トライアル

2020年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」

読書環境の充実に向けた取組が掲載される⇒予算要求準備

2)KinoDen導入の理由

電子図書館導入の理由「図書館が休館していても、また来館しなくても、インターネットを通じて自宅や職場から利用できるということ」

- ・調査研究に役立つ専門書が多い
- ・買い切り型（コンテンツライセンスの利用期限が無い）

⇒KinoDenを選定

3)収書方針、提供コンテンツ

- ・県立図書館として調査研究に役立つ資料や情報の収集
- ・もともとの重点収集分野：ものづくり文化、地域、健康医療 を50%以上選書
- ・辞典、事典、白書、年鑑など参考図書の充実（電子の特性を生かすため）

⇒5,529点のコンテンツを初期導入

1. 愛知県図書館様の事例

4)利用促進、広報について

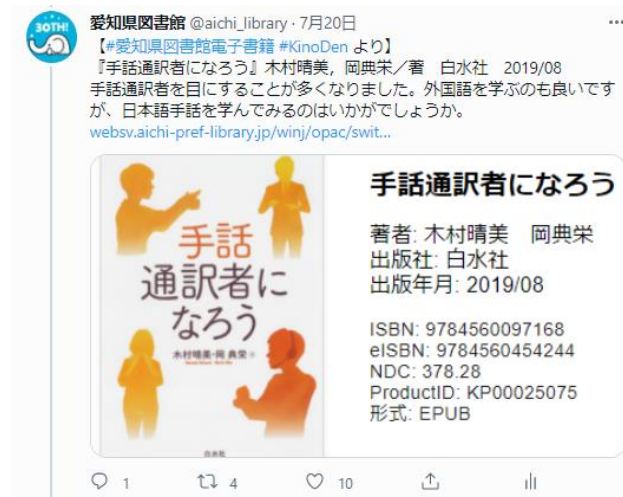
- ・コンビニや県庁へのポスター掲示、チラシ配布
- ・返却期限表にQRコードを印刷して広報
- ・県内の高校、専門学校、公共図書館への周知、記者発表
- ・利用講習会の実施
- ・Twitterでの広報、Web上でのアンケート
- ・マスコミ報道（東海TV、NHK、各新聞社等）

5)今後の課題

- ・オンライン登録（図書館利用者カード）の実現
- ・音声読み上げ対応コンテンツの更なる充実
- ・継続的予算、選定可能なコンテンツの広がり

※現状：電子化されているコンテンツが少ない・価格が高い等の課題

⇒KinoDenにはコンテンツ充実に向けた、出版社との取り組みに期待



⇒KinoDen導入へ。結果、非来館型サービスの展開に多いに役立った。

The image displays a collection of books from the 'Shogakukan' series, organized into three main sections. The top section features a grid of 20 book covers, each with a unique color and title. Below this grid is a section titled 'ジャンル' (Genre) containing 10 book covers, and another section titled 'デザイン' (Design) containing 10 book covers. The books are presented in a clean, professional layout, highlighting the variety of titles available in the series.

△

2. 法政大学図書館様の事例

4) Twitter広報のポイント

- ・画像をつける
- ・発信時間を絞る（通学時間、昼休み、就寝前）
- ・他の大学図書館情報を収集する（TweetDeckの利用）

5) 効果について

- ・購入タイトル数2019年度から2倍、アクセス数は3倍へ
- ・図書館以外の部署からの購入依頼
（学部で毎年紙で購入している本をKinoDenで購入⇒全学で共有）
- ・学内表彰⇒図書館の存在感を高める出来事に

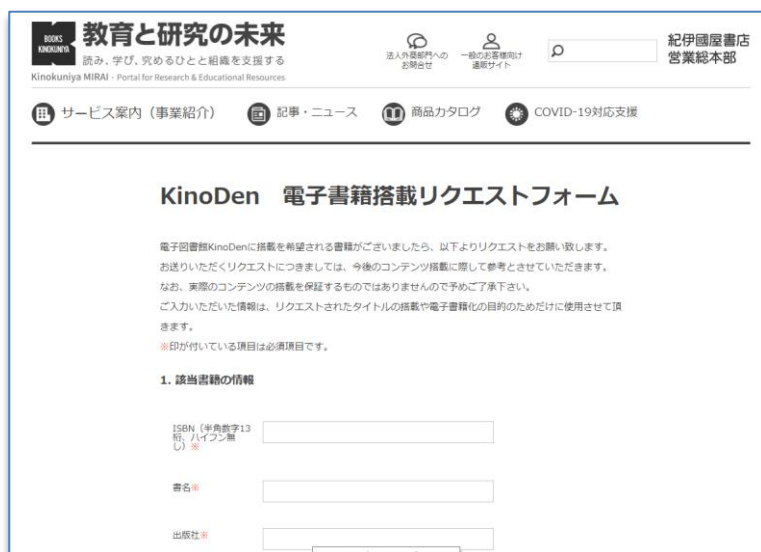
6) 今後の課題

- ・運営面での課題
（複数PF間での重複チェック、リクエストの購入判断、業務負担調整等）
- ・KinoDen側に対する希望
（特定コンテンツの非公開、レコメンド機能、リクエスト許可/不許可通知機能）

KinoDenコンテンツへの取り組み

【参考】出版社との取り組みについて

- ・図書館が求めるコンテンツ（紙でよく貸し出されている書籍など）は電子化されていないことも
- ・出版社側では電子化できない理由も様々な存在する。
（コスト、許諾、翻訳）
（ビジネス上の優先順位＝紙＞電子、個人＞図書館、教科書＞図書館）



The screenshot shows the 'KinoDen 電子書籍搭載リクエストフォーム' (KinoDen Electronic Book Request Form). The header includes the KinoDen logo, the tagline '教育と研究の未来' (Future of Education and Research), and navigation links for '法人・図書館等へのお問合せ' (Inquiries to Corporations/Libraries), '一部のお客向け公開サイト' (Public Site for Some Customers), and a search bar. Below the header is a navigation menu with 'サービス案内（事業紹介）', '記事・ニュース', '商品カタログ', and 'COVID-19対応支援'. The main content area contains the form title, a detailed explanation of the request process, and a section titled '1. 該当書籍の情報' (Information on the Target Book) with input fields for ISBN, book title, and publisher.

←WEB上の電子化リクエストフォーム
図書館からのリクエスト情報を出版社に伝達

- ・出版社交渉の強化（人員増等）
- ・新たな販売モデルの模索・相談（サブスク等）
- ・取引出版社への定期的な情報発信「ほぼ月KinoDen」
- ・電子書籍取次会社の活用（直取引以外のルート）

KinoDenアップデート情報

3. KinoDenアップデート情報

①最近のトピックス

2021年4月に導入図書館様向けのアンケートを実施しました。いただいたご意見を参考に、機能やコンテンツの開発を進めています。

1)ビューワー改善 2021年8月実装済

これまでも好評だったシンプル＆モダンなレスポンシブデザインは継承しながら、初めての方でもより分かりやすく・使いやすいインターフェイスに生まれ変わりました。

2)音声読み上げ機能（ブラウザ） 2020年12月実装済

EPUBリフロー形式で、出版社が許諾したコンテンツについて音声読み上げが出来るようになりました。PC Talkerや点字ディスプレイなどの外部ツールでは、EPUBリフロー形式のコンテンツに加えテキスト情報付の一部PDFは読み上げでき、点訳可能な場合もあります。



操作が解り易くなったKinoDenのビューワー



音声読み上げ画面イメージ

3. KinoDenアップデート情報

②今後の改修予定

1)音声読み上げ（アプリ）

現在はブラウザのみで利用できる音声読み上げ機能が、アプリでも対応可能に

2)メールアドレス認証

メールアドレスの共通ドメイン(@●●.ac.jp) を識別して認証させる方式を導入
⇒館内（IPアドレス内）で一度アカウントを作成しなくても認証が可能に

3)独自資料アップロード機能

図書館で所持しているPDF、EPUB形式の書籍や郷土資料をアップロード可能に
※別途有償オプションとなります

4)オーディオブック

オーディオブックの取り扱いを開始する予定です。
タイトル内容や詳しい時期は現在調整中です。

5. 質疑応答

本フォーラム中に頂いたご質問にお答えします

※時間の都合上全てにはお答え致しかねますので
ご了承の程お願い申し上げます。

お問い合わせ



図書館総合展のオンラインブースもご覧ください。

<https://www.libraryfair.jp/booth/2021/44>

株式会社 紀伊國屋書店

学術情報販売促進本部デジタル情報営業部 電子図書館サービス課

アドレス： ict_ebook@kinokuniya.co.jp

TEL: 03-6910-0518

ご清聴誠にありがとうございました

終了後に表示されるアンケートに
ご協力をお願い致します